

環境経営レポート



2023年6月1日～2024年5月31日活動報告

TCK 富山カラーリング株式会社
TOYAMA

作成日 : 2024年 9月 1日

目次

1. 環境経営方針
2. 環境組織図
3. 事業の概要
4. 環境経営目標と達成状況
5. 主要な環境経営計画の内容・取組結果の評価
6. 環境関連法規の違反の有無
7. 代表者による取り組み状況の評価
8. その他

1. 環境経営方針

環境経営方針

富山カラーリング株式会社は、日常の生産業務、営業・配達業務を通じて、省資源、省エネルギー、廃棄物削減等環境負荷の低減に配慮した環境経営を積極的に取り組むことにより、「最適生産・最適消費・最小廃棄」の持続可能な循環型社会の構築に貢献する。

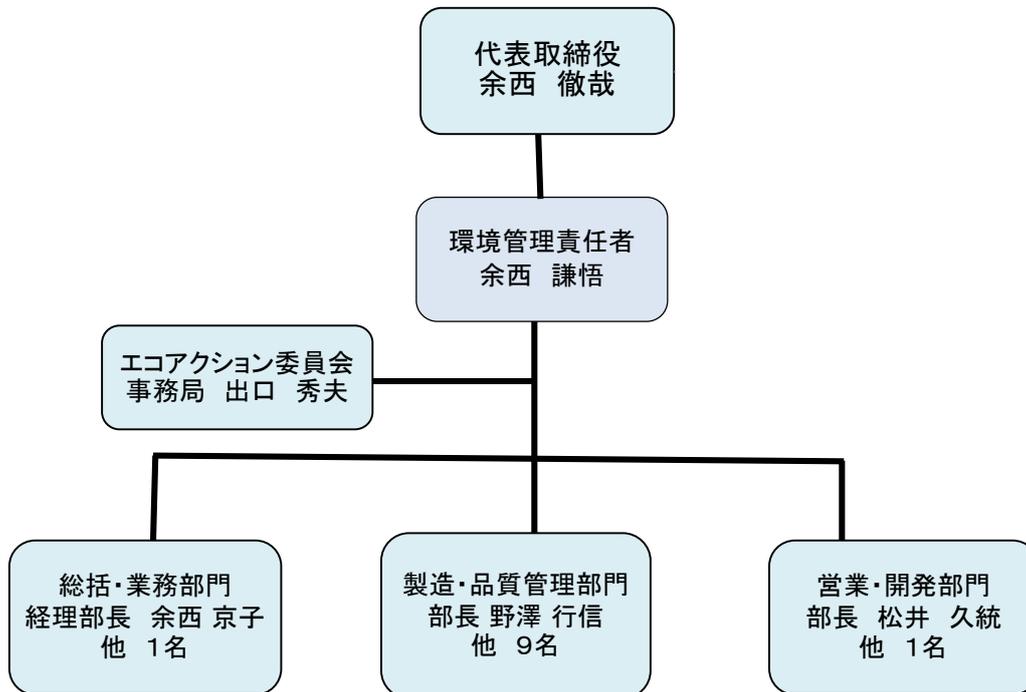
1. 業務活動が環境に与える環境負荷を把握・評価し、環境目的・目標を定め、継続的に環境負荷の低減に努める。
2. 環境関連法規・条例およびその他の規制要求事項を遵守し、さらにできる限り高い自主基準を設定しその達成に努める。
3. 全員参加による環境経営システムの構築と実施、およびシステムの継続的改善に努める。
4. 日常の業務や会議を通じて、環境方針・環境経営システムの周知徹底を図り、全社員に環境意識の向上を図る。
5. 全員参加による3R推進活動、および生産性向上への取り組みを行い、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、並びにリサイクルに努める。
6. 環境配慮型商品の販売を通して地球環境の改善に努める。
7. この環境方針は、ホームページ等を通じて社内外に公開する。

2008年 10月 27日
2020年 9月 1日見直し

富山カラーリング株式会社
代表取締役 余西 徹哉

2. 環境組織図

2024年 9月1日現在



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標の設定を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認 環境活動実施計画書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 環境活動実施計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 EA21について決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 事業の概要

(1) 会社概要

社名 富山カラーリング株式会社
代表者名 余西 徹哉
設立 1988年6月20日
資本金 3,200万円(2012年4月増資)
所在地 富山市婦中町外輪野1452番地

(2) 事業内容 (取組み範囲)

- ・各種合成樹脂の着色・改質、及びリサイクル加工
- ・パージ材及び着色ペレットの製造・販売、各種顔料・添加剤の販売

(3) 事業規模

	単位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度
生産高	トン	1,127.9	1,050.7	979.2	952.1
売上高	百万円	197.0	187.9	187.8	187.3
従業員数	人	17	17	17	17
床面積	m ²	1,873	1,873	1,873	1,873

* 基準年：2019年度

(4) 環境管理責任者及び担当者

責任者 余西 謙悟

担当者 出口 秀夫

連絡先 TEL 076-469-4201(代表)

FAX 076-469-5571

E-mail toy-tck@knei.jp

URL <http://www.toyama-tck.com>

4. 環境経営目標と達成状況

①環境経営目標(中期)

項目		基準年 (2019年度)	2021年度 (目標)	2022年度 (目標)	2023年度 (目標)
電力使用量	kwh (基準年比)	329,003	329,003 100%	329,003 100%	329,003 100%
電力による二酸化炭素削減/参考	kg-CO2 (基準年比)	173,056	173,056 100%	173,056 100%	173,056 100%
ガソリン使用量	L (基準年比)	1,619	1,619 100%	1,619 100%	1,619 100%
ガソリンによる二酸化炭素削減/参考	kg-CO2 (基準年比)	3,758	3,758 100%	3,758 100%	3,758 100%
軽油使用量	L (基準年比)	2,632	2,632 100%	2,632 100%	2,632 100%
軽油による二酸化炭素削減/参考	kg-CO2 (基準年比)	6,907	6,907 100%	6,907 100%	6,907 100%
暖房灯油使用量	L (基準年比)	964	964 100%	964 100%	964 100%
暖房による二酸化炭素削減/参考	kg-CO2 (基準年比)	2,402	2,402 100%	2,402 100%	2,402 100%
二酸化炭素総排出量/参考	kg-CO2	186,123	186,123	186,123	186,123
(排出物)					
紙類排出量 (有価物)	kg	1,390	1,390 100%	1,390 100%	1,390 100%
産業廃棄物	kg	20,600	20,600 100%	20,600 100%	20,600 100%
水使用量	m ³	8,134	8,134 100%	8,134 100%	8,134 100%
環境配慮型商品の販売 (新商品の試作)	件	1以上	1以上 100%	1以上 100%	1以上 100%
環境配慮型商品の販売 (新商品の使用依頼)	件	1以上	1以上 100%	1以上 100%	1以上 100%

* 新型コロナウイルスの影響を除くと売上増加傾向が継続しており、基準年以内の排出量、使用量を目指す。

* 使用電力の排出係数0.526(北陸電力、2018年度調整後係数)を使用する。

* 化学物質は使用していません。

②排出量の実績

(基準年)

項目	単位	2019年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績
二酸化炭素排出量 ※	kg-CO ₂ 係数:0.526	186,123.1	184,566.1	175,708.2	174,331.6
電力使用量 ※	kg-CO ₂ 係数:0.526	173,055.6	173,188.1	163,760.6	162,319.4
	kwh	329,003.0	329,255.0	311,332.0	308,592.0
自動車燃料計	kg-CO ₂	10,665.3	8,150.9	8,070.1	8,897.3
ガソリン	kg-CO ₂	3,758.1	1,548.1	1,721.0	2,681.5
	L	1,618.7	666.8	741.3	1,155.0
軽油	kg-CO ₂	6,907.3	6,602.8	6,349.1	6,215.7
	L	2,632.0	2,516.0	2,419.3	2,368.5
暖房器用燃料	kg-CO ₂	2,402.2	3,227.0	3,877.4	3,114.9
	L	964.0	1,295.0	1,556.0	1,250.0
廃棄物排出量削減	kg	21,990.0	19,160.0	16,650.0	17,170.0
一般廃棄物(紙以外)排出量	kg	—	—	—	—
紙類排出量(有価物)	kg	1,390.0	810.0	1,000.0	2,520.0
産業廃棄物(廃プラ他)	kg	20,600.0	18,350.0	15,650.0	14,650.0
水使用量	m ³	8,134.0	9,635.0	8,729.0	8,693.0
上水道使用量	m ³	8,134.0	9,635.0	8,729.0	8,693.0
地下水使用量	m ³	0.0	0.0	0.0	0.0
環境配慮型商品の販売 (新商品の試作)	件	1	1	1	1
環境配慮型商品の販売 (新商品の使用依頼)	件	1	2	2	2

* 1 一般廃棄物に関しては、データを取ってありません

* 2 使用電力の排出係数0.526(北陸電力、2018年度調整後係数)を使用する。

* 3 化学物質の使用はない。

③環境経営目標と達成状況

項目	単位	2019年度 実績(基準年)	環境活動実施期間実績 (2023年6月⇒2024年5月)				評価	2023年度目標 (2019年度比)
		一年	目標 率	目標値	実績	実績値/目標値		目標率
二酸化炭素排出量削減 ※1	%		100%			93.7 %	○	100.0%
	kg-CO ₂	186,123		186,123	174,330			186,123
電力使用量削減 ※1	%		100%			93.8 %	○	100.0%
	kg-CO ₂	173,056		173,056	162,319			173,056
	kwh	329,003		329,003	308,592			
自動車燃料削減	%		100%			83.4 %	○	100.0%
	kg-CO ₂	10,665		10,665	8,896			10,665
ガソリン	%		100%			71.4 %	○	100.0%
	kg-CO ₂	3,758		3,758	2,682			3,758
	L	1,619		1,619	1,155			
	%		100%			90.0 %	○	100.0%
軽油	kg-CO ₂	6,907		6,907	6,214			6,907
	L	2,632		2,632	2,368			
暖房器用 燃料の削減 灯油	%		100%			129.7 %	×	100.0%
	kg-CO ₂	2,402		2,402	3,115			2,402
	L	964		964	1,250			
廃棄物排出量削減	%					78.1 %	○	100.0%
	kg	21,990		21,990	17,170			21,990
一般廃棄物(紙以外) 排出量削減	%					%		
	kg							
紙類排出量削減	%		100%			181.3 %	×	100.0%
	kg	1,390		1,390	2,520			1,390
産業廃棄物 (混合)削減	%		100%			62.7 %	○	100.0%
	kg	8,050		8,050	5,050			8,050
産業廃棄物 (廃プラ)削減	%		100%			76.5 %	○	100.0%
	kg	12,550		12,550	9,600			12,550
水使用量の削減	%		100%			106.9 %	×	100.0%
	m ³	8,134		8,134	8,693			8,134
上水道使用量の削減	%					106.9 %	×	100.0%
	m ³	8,134		8,134	8,693			8,134
地下水使用量の削減	%					— %		100.0%
	m ³	0		0	0			0
工業用水使用量削減	%					%		
	m ³	0		—	0			0
環境配慮商品の販売促進								
新商品の試作	件	1		1	1	100 %	○	100.0%
新商品の使用依頼	件	1		1	2	200 %	○	100.0%

注) * 1 2020年度以降の目標値は2019年度の実績を基準として設定する。(売上増への対応とする。)

* 2 使用電力の排出係数0.526(北陸電力、2019年度調整後係数)を使用する。

* 3 化学物質の使用はない。

④環境経営目標と達成状況（売上原単位による比較）

項目 (売上原単位)	単 位	2019年度 実績(基準年)	環境活動実施期間実績 (2023年6月⇒2024年5月)				評 価	2023年度目標 (2019年度比)
		一年	目標 率	目標値	実績	実績値/目標値		目標率
二酸化炭素排出量削減	%		100%			98.5 %	○	98.0%
	kg-CO ₂ /百万円	944.79		944.79	930.75			926.3
電力使用量削減	%		100%	0		98.7 %	○	98.0%
	kg-CO ₂ /百万円	878.45		878.45	866.63			861.2
	kwh/百万円	1,670.07		1,670.07	1,647.58			
自動車燃料削減	%		100%			87.7 %	○	98.0%
	kg-CO ₂ /百万円	54.14		54.14	47.50			53.1
ガソリン	%		100%			75.0 %	○	98.0%
	kg-CO ₂ /百万円	19.08		19.08	14.32			18.7
	ℓ/百万円	8.22		8.22	6.17			
	%		100%			94.6 %	○	98.0%
軽油	kg-CO ₂ /百万円	35.06		35.06	33.18			34.4
	ℓ/百万円	13.36		13.36	12.64			
暖房器用 燃料の削減 灯油	%		100%			136.4 %	×	98.0%
	kg-CO ₂ /百万円	12.19		12.19	16.63			12.0
	ℓ/百万円	4.89		4.89	6.67			
廃棄物排出量削減	%					82.1 %	○	98.0%
	kg/百万円	111.62		111.62	91.67			109.4
一般廃棄物(紙以外) 排出量削減	%					%		
	kg/百万円				0.00			
紙類排出量削減	%		100%			190.7 %	×	98.0%
	kg/百万円	7.06		7.06	13.45			6.9
産業廃棄物 (混合)削減	%		100%			66.0 %	○	98.0%
	kg/百万円	40.86		40.86	26.96			40.1
産業廃棄物 (廃プラ)削減	%		100%			80.5 %	○	98.0%
	kg/百万円	63.71		63.71	51.25			62.5
水使用量の削減	%		100%			112.4 %	×	98.0%
	m ³ /百万円	41.29		41.29	46.41			40.5
上水道使用量の削減	%		100%			112.4 %	×	98.0%
	m ³ /百万円	41.29		41.29	46.41			40.5
地下水使用量の削減 (使用中止)	%					%		
	m ³ /百万円	0		0	0.00			0.0
工業用水使用量削減	%					%		
	m ³ /百万円	0		—	0.00			
環境配慮商品の販売促進								
新商品の試作	件	1		1	1	100 %	○	100.0%
新商品の使用依頼	件	1		1	2	200 %	○	100.0%

注) * 1、 2020年度以降の目標値の設定は、2019年度実績を基準とし、設定した
* 2 使用電力の排出係数0.526(北陸電力、2018年度調整後係数)を使用する。
* 3 化学物質の使用はない。

5. 主要な環境経営計画の内容・取組結果の評価

	活動計画	達成状況／問題点／是正	全体評価／見直／指示	次年度活動計画
電力節減対策説明	<ul style="list-style-type: none"> ・不用照明の消灯 ・エアコンの設定標準化 ・ウォームビズ・クールビズ ・機器の空運転防止 ・高効率設備に取り換え ・保守点検の適正化 	<p>目標数値を達成した。最重要事項であり、製造会議、営業会議、各種ミーティングで節電の徹底を共有化する。</p>	<p>引き続き、最重要項目である電力節電対策に全社をあげ取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不用照明の消灯 ・エアコンの設定標準化 ・ウォームビズ・クールビズ ・機器の空運転防止 ・高効率設備に取り換え ・保守点検の適正化
自動車燃費削減対策説明	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ ・急発進・急停止禁止 ・冷暖房の適正使用 ・不用物の積載禁止 ・タイヤ空気圧の適正化 ・低燃費車の使用 ・公共交通機関の利用 	<p>ガソリン車・軽油車ともに目標を達成した。但し、新型コロナウイルスによる工場訪問規制もあり、今後は数値含め再考必要である。</p>	<p>今後も省エネ運転を推進し、効率的配送により目標の達成へ継続的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ ・急発進・急停止禁止 ・冷暖房の適正使用 ・不用物の積載禁止 ・タイヤ空気圧の適正化 ・低燃費車の使用 ・公共交通機関の利用
暖房器燃料削減対策説明	<ul style="list-style-type: none"> ・使用時間の規制 ・適正温度の厳守 ・高効率機器の導入 	<p>目標を達成できず。暖房と洗浄を区分して管理を実施している。諸会合で周知している。</p>	<p>適正温度について、情報交換を密にして、原因の把握と対策を協議する事。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用時間の規制 ・適正温度の厳守 ・高効率機器の導入
紙類排出量削減対策の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の削減 ・新聞・雑誌・チラシ回収、不要紙検討 ・段ボール回収 ・包装紙回収 	<p>混合廃棄物の紙袋を再資源化でき増加した。紙袋の再資源量を確認し再度の減少を目指す。</p>	<p>各種会合等により、全員の意識を高め、さらなる推進に努める。リサイクル可能品は確実に回収に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の削減 ・新聞・雑誌・チラシ回収、不要紙検討 ・段ボール回収 ・包装紙回収
産業廃棄物の排出量削減の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・再資源化実施 ・分別回収 	<p>混合廃棄物を再資源化し、目標を達成した。再資源化と新規資源回収先調査に取り組む。</p>	<p>ロス減少と再資源化を推進し、新製品の工程にも削減対策を組み込む事。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再資源化実施 ・分別回収
上水道使用量削減対策の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水防止 ・節水対策 	<p>目標達成できず。作業指示書に水量管理項目を記載し節水に努める。</p>	<p>猛暑でもあるが、作業現場の水管理を徹底し、節水対策をより強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水防止 ・節水対策
環境配慮商品の販売促進	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットによる性能のアピール ・ダイレクトメールによる対外紹介 	<p>性能差を評価する得意先を開拓できた。サンプル製品の実証試験を依頼中である。</p>	<p>製品改良に努め、新製品として販売展開を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットによる性能紹介 ・ダイレクトメールによる対外アピール ・実用使用企業の開拓

6. 環境関連法規の違反の有無

法 律	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の廃棄	○
下水道法	公共下水道への排水	○
水質汚濁防止法	河川への排水	○
消防法	少量危険物の取扱い	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検	○

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、法令違反はありませんでした。

また、過去において関係機関からの指摘及び利害関係者からの訴訟もありませんでした。

7. 代表者による取り組み状況の評価

2023年6月1日～2024年5月31日 活動結果の総括

2020年3月より、新型コロナウイルスによる行動制限を受け、僅かではありますが売上の減少が続いています。又、2022年2月からのロシアのウクライナ侵攻、2023年10月イスラエルによるガザ進攻で原油や電力料金の高騰もあり、企業運営において変化の激しい中での中期目標4年目の活動となりました。

全体の活動実績では、総CO2削減と廃棄物排出量は目標を達成しましたが、水使用量は増加となりました。

個別事項については、自動車燃料であるガソリンの使用量は、昨年度同様、営業自粛を余儀なくされ、71%となりました。今後は、新型コロナ5類移行もあり、大都市圏の得意先及び営業先の訪問受入れ状況により使用量が増加見込みである。軽油は、効率的な配達を心掛け目標を達成した。一方、暖房器用灯油は、今年は北陸地方の低温傾向があり増加となった。適正な使用を遵守したい。廃棄物排出量はリサイクル利用への促進・見直しを図り、混合・廃プラ共に、目標を達成した。特に混合廃棄物は紙類の比率が高く、汚れのない紙袋を再生企業に搬出し削減できた。今後取引先・営業先に環境配慮型トミクリンの使用を促進すべくニーズを確認し、改良を含め対応を強化する。2016年2月より太陽光発電を導入し、近隣へのアピールに努めつつ、社会のCO2削減に引き続き取り組みを継続します。

全体として、環境に対する意識は向上し、経済状況不安定の中、総二酸化炭素排出量は減少しており、活動が定着していると認識します。PDCAサイクルを着実に実行することで、一人一人の意識の底上げにも心がけ、今後の削減目標を達成していきたいと思えます。

2024年9月1日

富山カラーリング株式会社

代表取締役 余西 徹哉

8. その他

- ・ 現在製造・販売を行っている成型機用洗浄剤『トミクリン』は、顧客において従来使用の洗浄剤に比べ使用量を減らすことができ、廃棄物の削減にも寄与している。
今後もユーザーの希望に沿う新製品の開発に努める。最近では、臭いと煙の少ない環境配慮型の開発も実用化の段階で、販売開始得意先もできている。新グレード製品として販路中で更なる改良に努め、新型コロナ後の経済活動再開に向けて取り組み中である。
- ・ 本レポートは、2023年6月1日より2024年5月31日までの報告であるが、現在も活動は継続している。定期的に行う全体会議・製造ミーティング・営業会議で活動を具体化している。